

つながりと健康格差

講師：村山 洋史先生

主催 一般財団法人東京保健会 病体生理研究所

【講演要旨】

私たちの健康は、運動や食事など、日常の行動に大きく左右されます。その行動は、私たちが持っている人や社会とのつながりを通し、知らず知らずのうちに周囲の人々から影響を受けているのです。多かれ少なかれ、私たちは誰かと何かしらのつながりを持っているものです。そういったつながりをうまく活かそうというのが最近の健康づくりの流れです。講演では、個人が持つつながり、および地域のつながりが我々の健康にどう影響するかについて概観し、「人生100年時代」のつながりをどう考えていけばよいか、お話ししたいと思います。

【日時】2019年9月7日（土） 午後3時～5時

【会場】連合会館 2F「201」会議室 【参加費】無料

【講師】村山 洋史 先生〔東京大学高齢社会総合研究機構・特任講師〕

【定員】90名（先着順で締め切ります。あらかじめ御了解ください）

申し込み方法

- 1、下記申込書にもれなく記入の上、FAX・郵送で申込。（不備がある場合、受講票を送付できません）
- 2、申込者あて受講票をFAXで送付します。当日、必ずお持ち下さい。
- 3、定員到達後の申込者へは「締切済」通知をFAXで送付します。あらかじめ御了解ください。

2019年9月7日（土）「第145回 医療技術者研修会（村山洋史先生）」受講申込書

勤務先の名称	職種	氏名（フリガナ付）
勤務先の住所 〒（ ）		
FAX番号 （ ）		

申込先 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町 26-2（財）東京保健会病体生理研究所 医療技術者研修係

問い合わせ用 TEL 03(3956)4120

申し込み用 FAX 03(3956)4102

講師

むらやま ひろし

村山 洋史 先生

東京大学高齢社会総合研究機構・特任講師

【略歴】

2009年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。東京都健康長寿医療センター研究所、ミシガン大学公衆衛生大学院を経て、2015年より現職。2012年日本公衆衛生学会奨励賞、2015年公益財団法人長寿科学振興財団長寿科学賞を受賞。専門は、公衆衛生学、老年学。人々のつながりや地域の文化・風土が健康に及ぼす影響について研究している。

【関連文献等】

- ・ 村山洋史. 「つながり」と健康格差：なぜ夫と別れても妻は変わらず健康なのか. 東京, ポプラ社, 2018.
- ・ 村山洋史, 他. 「労働市場・雇用政策と健康 (pp. 189-259)」「なぜいま社会疫学なのか (pp. 337-351)」. 社会疫学 (高尾総司, 藤原武男, 近藤尚己, 監訳). 東京, 大修館書店, 2017.
- ・ 村山洋史, 小宮山恵美, 平原佐斗司, 野中久美子, 飯島勝矢, 藤原佳典. 在宅医療推進のための多職種連携研修プログラム参加者におけるソーシャルキャピタル醸成効果：都市部での検証. 日本公衆衛生雑誌. (in press)

【所属学会等】日本公衆衛生学会 日本疫学会 日本老年医学会 アメリカ老年学会

会場案内 連合会館 2F・201会議室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

〔電話〕03(3253)1771(代表)

交通機関

JR 総武線・中央線「御茶ノ水駅」徒歩5分
都営地下鉄新宿線「小川町駅」徒歩2分
地下鉄東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」徒歩1分
地下鉄東京メトロ丸の内線「淡路町駅」徒歩4分

会場地図



注記：本財団は個人情報保護法を遵守し、申込書に記載頂いた情報は、本研修会に係る受付・運営のみに利用いたします。申込の内容に関する照会・修正等につきましては左記「医療技術者研修企画係」へ御連絡をお願い致します。